

松川ダム バイパス放流の際はサイレンを鳴らします 急激な水位上昇にご注意下さい！

長野県飯田建設事務所松川ダム管理事務所 (0265-23-0622)

● **バイパス水路の概要**：松川ダムでは大量の土砂を含む流入水（概ね 20m³/秒）がある場合、貯水池上流においてバイパス水路へ切り替えます。

バイパス放流を行う際には、下流河川において急激に水位が上昇する危険性があるため、開始 30 分前と 7 分前にサイレンを鳴らして河川内にいる方へ避難を促します。（ダム職員によるパトロールも行っています。）



● **バイパス水路実績**：平成 30 年度は 4 回のバイパス放流を実施しました。

平成30年土砂バイパス放流実施一覧表					
バイパス放流開始日時	バイパス放流時間	最大放流量	累計雨量 (流域平均)	時間最大雨量 (流域平均)	備考
平成30年4月25日 12時	174時間(約7日間)	79.2m ³ /s	130mm	18mm	前線降雨(雪解け)
平成30年6月20日 10時	34時間(約1.5日間)	35.9m ³ /s	77mm	13mm	梅雨前線降雨
平成30年7月4日 11時	196時間(約8日間)	98.8m ³ /s	314mm	15mm	梅雨前線降雨(西日本豪雨)
平成30年9月4日 14時	333時間(約14日間)	144.4m ³ /s	154mm	28mm	台風21号

● **バイパス水路の効果**：松川ダム再開発事業による貯水池掘削工事とバイパス水路の効果が現れ、貯水容量率が H5 末：75%→H30 末：84%と順調に回復しています。



H30.7.4 バイパス放水路の状況



H30.7.4 下流河川（妙琴）の状況

● **下流河川への環境影響について**：バイパス水路により土砂を下流に流すことで環境の変化が見込まれるため、継続的に環境調査を行い、調査結果を基に専門家による委員会の意見を頂きながら、評価及び放流方法等の検討を行っています。昨年度の調査結果は下表のとおりです。（詳細は松川ダムホームページを御覧下さい）

分類	調査項目	調査結果
生物環境	魚類、底生生物、付着藻類、植物	・大きな変化なし
物理環境	河川横断測量、河床材料調査、河川情報図、井堰堆積状況、水位・流量、航空写真撮影	・大きな変化なし
バイパス施設	流砂量（浮遊物質）、濁度、トンネル摩耗量、水温	・流砂量を解析中 ・施設に変化なし

☆ダム下流河川が豊かな自然環境に改善される、放流方法等の設定を目指します。

～土日祝日もバイパス水路に切り替えます～ 土砂のバイパス効果を促進するため、土日祝日にもサイレンを鳴らしてバイパス水路に切り替えます。サイレンが鳴りましたら、速やかに河川内から避難をして下さい。なお、当面の間、夜間の切り替え（サイレン吹鳴）は行いません。